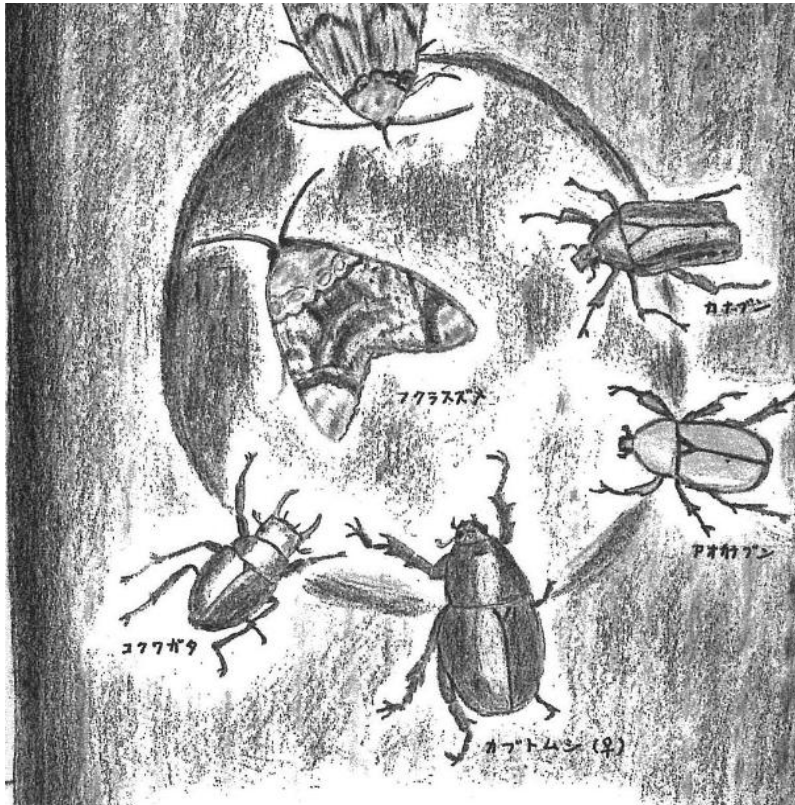




# ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 絵本「月夜のおまつり」より

## ●ミズキの池ハイド前環境整備(草刈りなど)●

## 友の会行事のお知らせ

ミズキの池のハイドは各種トンボ、水鳥類やカワセミの観察が楽しめる場所です。しかし、ハイドの観察窓の前には観察の妨げとなる草が繁茂し、池の見通しが悪くなっています。会員の力で除草、枝払いを行い、生き物観察の環境を回復させましょう。

日時：9月1日(日) 9:10~11:00まで 少雨決行

集合場所：センター前

参加資格：友の会会員(中学生以上)

その他：汚れても良い服装、飲み物、帽子、可能なら軍手、長靴

\*暑さ対策を充分に行ってください。

担当：カワセミファンクラブ

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

### ●友の会が横浜環境活動賞で W 受賞！！●

第26回横浜環境活動賞の表彰式が6/13(木)に市長公舎で開催され、友の会が「市民の部・実践賞」及び「生物多様性特別賞」をW受賞しました。同賞は、平成5年の第1回(当時は横浜環境保全活動賞)に続き、四半世紀ぶり、2度目の受賞です。前回は友の会設立5周年、今回は30周年という記念すべき時期の受賞となります。保全管理計画を生かす活動など、会員一人ひとりの日頃の積み重ね、多種多様な活動が高く評価されました。

表彰式には山口、中里事務局長、秋元ネットワーク担当理事(前会長)、掛下チーフレンジャーが出席し、格調高い公舎内及び綺麗に整備された庭園で記念撮影などを行いました。また、ポスターセッションで受賞各団体等との交流もありました。ポスターは巡回展示されるほか、事例集として冊子にまとめられ、活動のPRにもつながるものと思います。横浜市ホームページでも紹介されていますので、是非とも御覧ください。(会長 山口博一)



### ●7月定例会報告●

### 事務局からのお知らせ

日時 2019年7月15日(月・祝) 10:00~11:30

出席者 青木、秋元、池澤、大浦(議長)、大西、落合、小島、関根(書記)、佐々木、高橋、中里、星隈、村松、山口、和田、渡部 掛下R、尾崎R

#### 議題

#### 1. 行事報告

5月下旬から7月中旬の行事報告、活動報告を行いました。併せてPJの報告を行いました。

#### 2. 行事予定

7月下旬から10月中旬までの行事予定、活動予定の確認を行いました。

#### 3. 事務局より

- ・友の会が第26回横浜環境活動賞の市民の部・実践賞と生物多様性特別賞をW受賞しました。
- ・「秋の森まるごと体験」(10月20日)の実施要項を検討しました。参加のPJの皆さん、準備等よろしくお願ひします。
- ・区民祭りの日程が決まりました。友の会として出展します。  
金沢区金沢いきいきフェスタ:10月19日(土)(雨天20日)  
栄区民まつり:11月2日(土)  
スタッフとして参加できる方、中里事務局長まで連絡をお願いします。
- ・ゴロ報の内容の見直しをします。アイデアやご意見のある方、中里事務局長までお願いします。

#### 4. センターより 「観察センターだより」のページをご覧ください。

#### <次回の定例会>

日時 9月15日(日)10:00~

場所 自然観察センター研修室

定例会には、会員はどなたでも出席できます。

森のこぼれ話

ふむふむ

## 今宵は月でも眺めてみようか

1969年7月21日、今からちょうど50年前、アポロ11号が人類で初めて月面に降り立ちました。着陸したのは、月でお餅をつくうさぎの顔の部分にあたる、「静かの海」と呼ばれる場所です。

当時小学生だった私も興味深くTVを見ていました。

アポロ11号が着陸した近くには、小さなクレーターが3つ並んでいますが、このクレーターには月に降り立った3人の宇宙飛行士の名前が付けられています。

月は、私たちにとってとても身近で、観察を楽しめる天体と言えます。

楽しみ方をいくつか挙げてみると・・・

○満ち欠けを楽しむ…月は約29.5日で新月→満月→新月と満ち欠けを繰り返します。夕方の西空に浮かぶ三日月、夜半の中空に輝く満月、夜が明けた空に浮かぶ有明の月等、様々な顔を見せてくれます。太陽の光が正面から当たっている満月と、横から当たっている半月では、双眼鏡やフィールドスコープで見ると半月の方が月の地形の影により立体的に見えます。

○他の惑星との接近（ランデブー）を楽しむ…月に惑星が接近する現象は毎月のように起こります。接近する惑星や月との間隔、月齢はその時により変わりますが、季節の雰囲気なども合わせて楽しむことができます。

○星食…月が星の正面を通過していくために起こる現象です。

1等星などの明るい星が隠されるときは、観察のチャンスです。

○月食…地球の影に月が入って隠される現象。みなさん一度は見たことがあるのでは？

これらの現象は、天文年鑑やネットの天体関係の記事で調べることができます。

また観察も肉眼や双眼鏡、フィールドスコープなどで十分楽しむことができます。まずは自分の持っている道具を使ってどこまで楽しめるか試してみましょう。

今年のお月見（中秋の名月）は9月13日です。月を愛でながら、50年前に人類が降り立った静かの海を眺めるのも一興ではありませんか。

秋元文雄



アポロ11号が着陸した「静かの海」（○の部分）

## 定例行事の報告

### ●定点カメラで動物調査 活動報告●

7月13日(土)の活動日には、森の中のけもの道3か所での新旧2種類のカメラの設置と、5~6月に撮影された写真のチェックを行いました。

写真チェックは、センターのディスプレイの前で、一般の方も一緒にわいわいに行いました。おなじみのタヌキ、ノウサギ、ネズミの仲間、タイワンリス、アライグマ、ハクビシンなどが写りましたが、ここ数年、撮影数が少なくなっていたノウサギが、今年は5~6月だけで古いカメラで8枚、新しいカメラで11枚も撮影され、まずは一安心です。そしてちょっと盛り上がったのが、“虫”。写真に何やら黒い帯が・・・なんだこれ、とよく見ると、帯の端の方はけばけばした様子・・・毛虫がカメラの表面を這ってる! そうやって分かったら、別の写真にも這ってる様子が・・・。

毛虫の写真を展示するかは微妙ですが、今年の写真展は、10月13日(日)から11月8日(金)まで、ゴロスケ館にて開催します。ご興味ある方はご覧になってください。

今後の予定(時間は全て9:30~12:00 写真チェックは11:00から)

9月14日(土): カメラ設置と写真チェック

10月12日(土): カメラ回収、写真チェック、写真展設置

11月9日(土): 写真展撤収、写真チェック

ご興味ある方、一緒に調べませんか。お待ちしております。

定点カメラで動物調査 渡部

### ●森を守るボランティア体験(6月) 報告●

開催日: 6月16日(日) 9:30~14:00

テーマ: 「不要木の伐採」

担当: 雑木林ファンクラブ 3名

一般参加者: 10名

炭小屋前広場にて伐倒作業の基本的な進め方を説明、そして安全装備の装着、伐倒に必要な機材を準備。その後、伐倒場所であるトイレ前管理7区へ移動。伐倒対象木の特徴の説明、伐倒の方向決め、人員の配置/位置の設定、機材の設定。そして、受け口/追い口の具体的説明、さらに作業の詳細手順を説明。これ以降は参加者が交代で実際に伐倒用大のこぎりを操作して切断作業を実施。参加者は切断後の枝払い、玉切りまで伐倒の全作業を実際に体験し作業を完結。

伐倒の全作業を実際に自分で体験できたことから、参加者は伐倒作業に興味を持つとともにかなりのレベルで満足頂けたように感じました。

雑木林ファンクラブ 小島

私たちの活動において「安全管理はすべてに優先」する。一方で不幸にも事故が発生した場合に備えて、友の会では会員の活動や行事参加者に保険をかけている。また最近、市内でチェーンソーを使用する活動で保険金が払われないケースも発生しているので、本当に必要なリスクを確実にカバーしているのかの確認を兼ねて傷害保険の適切な活用を学んだ。

日時： 2019年6月23日（日）10:00~12:00  
場所： 自然観察センター 研修室  
参加者： 会員18名、レンジャー2名 計20名

講師と内容の要約：

1)「市民活動における損害保険」《保険業界の視点》

横尾修一氏（一般社団法人日本損害保険協会 南関東支部 事務局長）

かつて保険会社の商品はその条件や内容が同じだったが、今は基本部分以外に付加するサービスで競争が進んでいて、保険会社も他の会社の商品の細かなところはわからなくなっている。もらった課題はその境目にあるので、今日はまず傷害保険の基本について話したい。保険は契約である。日本では税金にしろ医療にしろ、相手にお任せという国民性があるが、加入にあたって市民側の意識や知識も必要。保険に関する情報格差を埋めるために保険会社では、「加入者のニーズの確認」「内容の説明」「加入者の意向の確認」というプロセスを徹底するようにしている。不明なことはどんどん質問してほしい。

傷害保険の基本は「急激性」「偶然性」「外来性」にある。徐々に進む靴擦れ、故意や重過失、体内の病気が原因となる事故などは対象にならない。今日の話である「団体活動保険」は、特定の団体のために、そのニーズに合わせて作ることができる。保険の対象が絞られることで、また包括的に手続きできるのでコストが下がり、保険料を安めに設定できる。ただし、柔軟になっただけ、わかりにくくなっているとも言える。

2)「野外活動のリスクと保険の活用」《市民活動の視点》

久保田繁男氏（森づくりフォーラム理事、西多摩自然フォーラム代表）

森づくりフォーラムでは「グリーンボランティア保険」という包括保険契約を東京海上としており、自分が理事として担当している。西多摩自然フォーラムでは、グリーンボランティア保険と社会福祉協議会（社協）のボランティア活動保険を使っている。

まず環境保全活動におけるリスク管理だが、保険請求の事例を見ても、安全管理を徹底するだけで病院に行って保険を申請する事故の7割は防げる。毎年、鎌や鋸による左手の傷が何件もあって減らない。左手の置き方の問題だ。その他に病院まではいかなくて済んだ事故が10倍くらいはあるだろう。

傷害保険については、微妙なケースが多くて資料にも断定的に書けないので、口頭で話せる範囲で補足したい。まず社協のボランティア活動保険は団体の会員が個人で入るものだが、チェーンソーを使う「森林ボランティア活動」は補償の対象にならない。森林でなく街路や公園なら補償するという場合もあってファジーだ。またチェーンソーを使用する「活動」とチェーンソーを使う「人」とは別で、グループでチェーンソーを使う活動をしているとチェーンソーを使っていない作業員も対象にならない。刈り払機も明確に書かれていない。平らなところなら対象になるが傾斜地は対象外とも言われている。同じ社協のボランティア行事保険は刈り払機の使用も対象外。チェーンソーを使っている団体がよく使っている「スポーツ安全保険」も、「活動の内容によって」チェーンソーも可、とされており、森から道路に出された伐採木をチェーンソーで玉切りするのは対象になるが、樹林地の中での活動は対象外、という事例もありこれもファジーなところがある。「グリーンボランティア保険」は1種と2種があり2種ならチェーンソーも刈り払機も可能だし、事前でなく実施後の実算ベースの保険料支払いになる。加入対象は、森づくりフォーラムの登録団体。

つまり具体的事例でないと判断がつかないので、ファジーなところはちゃんと確認する必要がある。他団体の支払い事例は安易に信用しない方がよい。事故報告書の内容や活動と事故との因果関係が問われる。それに社協の窓口は受付だけで支払いの可否判断は保険会社になる。結論として、自分たちの活動の範囲とどの保険なら支払い対象となるのかをよく確認して選択することが大事。

<次ページに続く>

## ●2019年度 安全管理講習 報告●

<前ページからの続き>

### 3) 「横浜市市民活動保険について」《行政の視点》

鈴木正則氏 (横浜市市民局地域活動推進課 担当係長)

市民活動保険は、市内でのボランティア活動の際のケガや他人への賠償を、市が保険料を負担して、事前の届けがなくとも事故発生時の報告で審査している。支払いのためには「自主的に構成されたグループ、個人による活動」「無報酬」「継続的、計画的」「公益性がある」という要件を満たす必要がある。実際には約半数は骨折で、その6割は自宅と活動場所との移動の間に発生したものの。チェーンソーの使用は、他人への賠償部分を除いて対象にならない。この保険は市の予算でやっているもので保険料に影響するリスクの高いものや十分な金額の補償にはなっていない。最小限のものであり、各団体には自分たちの活動に合わせて必要な保険を考えてほしい。

### 4) 質疑応答とまとめ

出席者とも活発な質疑があり、最後に山口会長、保険担当の青木理事からもコメントをもらった。保険の状況も変わってきており、会として見直しも検討していく必要性を確認することができた。

【補足】チェーンソーを使用する雑木林ファンクラブでは、講習の後、スポーツ安全保険に関して保険会社に会の活動を説明の上、補償対象になるとの回答を得ている。

以上 (安全管理担当 中塚)

## 友の会行事のお知らせ

### ●森の作業体験 間伐・木工を楽しもう●

日時：9月14日(土) 10:00 ~ 14:00

場所：横浜自然観察の森 炭小屋

対象：小学生以上30名(8月5日から受付、申込順) 小学生は保護者同伴

服装と持ち物：汚れてもいい服装(長袖長ズボン)、スニーカー・帽子・軍手

汗ふき用タオル・昼食・飲物

雨天：前日夜間の天気予報で、降水確率50%以上の場合は原則中止です。

申込：9月6日(金)までに、下記宛てのFAXかメールをお送りください。

「森の作業体験参加」と明記の上、参加者全員のお名前(お子様の年齢)、連絡先電話番号/FAX番号/メールアドレスのいずれかをご記入下さい。

FAX 045-894-8892 (自然観察センター) メール：[kansatsunomori@gmail.com](mailto:kansatsunomori@gmail.com)

間伐体験の他、木工体験(コースター作りなど)や火起こしもできます。

担当：横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ

# Y OKOHAMA NATURE SANCTUARY NEWS 8

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2019年 8月号

## 【報告】第2回 保安全管理フォローアップの会 (7/13 (土) 13~15時)

○参加者：友の会4名(落合道夫さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、宮脇悠生さん)、みどりアップ推進課1名(山野崇さん)、レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)、野鳥の会五反田事務局スタッフ2名(厚目葉子、岡田卓志)

○内容：昨年5月のフォローアップの会で実施した、桜林の実生木調査から1年が経過しました。当時計測した実生木の生長を知るため、再び調査を行いました。調査区内は草やツル植物が生え放題になっており、ノイバラの棘に引っ掻かれたり、クズのツルに足を取られたりしながらの作業になりました。結果、実生木は順調に育っていることがわかりました。中には、この1年間で1m以上も伸長した木もあり、植物の生長の速さに驚かされました。一方でアズマネザサが侵入してきたことで、生長が鈍っている可能性のある場所もあり、どのようにササの管理を行っていくべきか、といった課題も出てきました。また、昨年の課題を受けて、計測した実生木の個体識別ができるように、番号付けと調査区内の位置図も作成しました。桜林では今後も実生木や草本類の継続的な調査と林床管理の検討をしていきたいと考えています。



## 【報告】第1回 保安全管理懇談会 (7/15 (月・祝) 15~17時)

○参加者 友の会4名 (落合道夫さん、岸本道明さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、山口博一さん、吉田賢一さん)

横浜市2名(菊池昌人さん、山野崇さん)、レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)

○内容 今年度、横浜市(委託業者)の行なう草刈や外来種の伐採等の環境管理作業、改修工事、レンジャーの行なう環境管理作業等について報告し、環境管理に関する課題の進捗状況等について情報共有と意見交換を行いました。

## 【お知らせ】保安全管理フォローアップの会 今後の予定

★次回 9/7 (土) 13~15時

○内容：ピクニック広場の植生管理(予定) 集合：研修室

広場の北西側のススキ草地予定地に侵入している、セイタカアワダチソウの除草を行う予定です。また、昨秋のフォローアップ勉強会で作成した植生図を見ながら広場を歩いてみたいと思います。厳しい残暑の恐れもあるので、天候とも相談しながら実施したいと思います。

持ち物：作業のしやすい服装、帽子、飲み物、滑り止めつき軍手、タオル、着替え

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。

## 【募集】アライグマ捕獲ワナの巡回ボランティア

外来種による生態系被害を防ぐため、今年度もアライグマ捕獲を実施します。箱ワナによる捕獲には日々の巡回が必要です。今シーズンも巡回にご協力いただけるボランティアを募集します。

○内容 11月~3月のご都合のよい平日午前中(30分~1時間程度)ワナを巡回し、捕獲の有無の確認とエサの補充を行います。

※詳しくは掛下<kakesita@wbsj.org>までご連絡ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 【お知らせ】熱中症を予防しましょう

この夏も梅雨明けから30度超えの日が続きました。自然観察センターでは7月から今年も、環境省の情報にもとづいた「暑さ指数」を掲示し、注意喚起を行っています。横浜市からも夏季の野外活動に関してガイドラインが示され、「暑さ指数31℃以上の時は室内活動へ変更」や、「15分以上の活動に休憩を入れる」といったチェックリストによる指導がありました。センター主催行事はこのリストに従って実施しています。友の会主催行事に対しては、このリストの適用は必須ではありませんが、判断に迷った際に参照できるものとして、行事に関連するプロジェクトのみなさんに共有しました。

### ●暑さ指数(WBGT)ごとの熱中症予防運動指針

気温(参考)	WBGT	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	外出はなるべく避ける。特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31~35℃	28~31℃	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	外出時は炎天下を避ける。激しい運動や持久走は避け、こまめに休憩をとり、水分・塩分を補給する。
28~31℃	25~28℃	警戒 (積極的に休憩)	積極的に休憩をとり、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24~28℃	21~25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症の兆候に注意し、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分を補給する。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

図) 横浜市の熱中症予防パンフレットより

## 【お知らせ】9月より森の家リニューアルオープン

9月1日より上郷・森の家がリニューアルオープンとなります。それに伴い、駐車場の利用が再開され、車でのご来園が可能となります。利用料金(500円)はこれまでと変わりません。また、日本野鳥の会の協定旅館としても引き続き連携していきます。

## 【お知らせ】国内外来種モリアオガエルに注目!

泡状の卵の塊を樹上に産むことで知られるモリアオガエルが、この春たびたび園内で見つかりました。卵(写真)や成体(カエル)そのものが発見されたり、シュレーゲルアオガエルによく似た鳴き声が聞こえたりしました。このカエルは日本産ではありませんが、神奈川県には本来生息しない種と考えられています。人によって放たれた可能性が高いため、園内では広がる前に駆除を進めています。今後も卵やカエルを見つけた方はセンターにお知らせください。



ホランティアさん \*\* 6/9~7/31 \*\* ありがとう

6/2~ カワセミファンクラブのみなさま

自然情報のご提供 外来種モリアオガエルの産卵情報のご提供

6/2~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

6/8・16・22

村松古明さん 今村修さん 竹田直矢さん 石川裕一さん 佐々木彩愛さん 水上重人さん

イベント「ホタル ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場」へのご協力

学生ボランティアのご対応

6/26 雑木林ファンクラブのみなさま タンポポの道9番付近のセイタカアワダチソウ抜き

7/14 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供

7/13、14 定点カメラで動物調査 雑木林ファンクラブ 鳥の暮らし発見隊のみなさま

日本野鳥の会事務局の新人研修の受け入れのご協力

7/18 PJ-Strix 秋元文雄さん ひょうたん池付近の園路情報、自然情報のご提供

7/24 雑木林ファンクラブのみなさま 教育企業研修(セイタカアワダチソウ除去作業)へのご協力

6月~7月末 水上重人さん 今村修さん ホタル調査への同行

横浜自然観察の森 自然観察センター(月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

★車でのご来園は9月1日より可能となります。





# 行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

### ●ミズキの池ハイド前環境整備

9/1 (日) 9:10～11:00  
(少雨決行)

集合：自然観察センター前

対象：友の会会員(中学生以上)

その他：汚れても良い服装、飲み物、帽子、可能な  
ら軍手、長靴

担当：カワセミファンクラブ

### ●写真展

#### 「横浜自然観察の森の猛禽類」

9/29 (日)～11/30 (土)

担当：カワセミファンクラブ

#### 「森の生きものたち」

10/13 (日)～11/8 (金)

担当：定点カメラで動物調査

### ●森の作業体験(伐採体験)

9/14 (土) 10:00～14:00

対象：小学生以上 ※中学生以下は保護者同伴  
申込必要 定員30名先着順

集合：横浜自然観察の森 炭小屋 10:00

## ●自然観察センター主催行事●

### ■幼児向け 生きもののであう森さんぽ

レンジャーといっしょに森の自然を観察しよう!

開催日：9月28日(土)、29日(日)

時間：10:00～12:00(各回同一内容)

対象：3～6歳の未就学児とその保護者  
各回40名(抽選)

参加費：無料

申込：下記項目を明記の上、9/15(日)までに  
メール、FAXにてセンターへ申込み。

- ①イベント名と希望日
- ②参加者全員の名前とふりがな
- ③お子様のお名前、性別、年齢
- ④電話番号
- ⑤FAXの時はFAX番号
- ⑥情報源「ごろほう」
- ⑦落選時の、キャンセル待ちの希望の有無

発行日 2019年8月18日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
FAX 045-894-8892  
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

## ●友の会 定例行事●

### ●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
9/1 (日)・10/6 (日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

9/8 (日)・10/13 (日)

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

8/28 (水)・9/18 (水)・10/16 (水)

10:30～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●定点カメラで動物調査

9/14 (土)・10/12 (土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センタ  
ーに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴  
で。タオル、水筒持参

集合：ごろすけ館集合

5月～11月の毎月第2土曜日

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

9/21 (土)・10/19 (土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜日

### ●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

8/24 (土)・9/28 (土)・10/26 (土)

13:30～14:30

(※2019年度も1日1回の開催になります。)

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜